

2018 年 6 月 8 日

土木学会 舗装工学委員会

「コンクリート舗装小委員会」 設立趣意書

1. 設立目的

わが国の社会資本整備事業は時代の変化に対応し様々な取り組みがなされてきたが、道路舗装（港湾・空港含む）の長寿命化対策については十分とは言えない状況である。近年、舗装の長寿命化について最も効果が期待できるコンクリート舗装の事業が少しずつ増加してきた傾向も見られるが、現状ではこの技術に対応する研究者や技術者が官民学問わず減少し、既存技術の伝承さえも困難な状況にある。

このようなことから、2007 年にコンクリート舗装小委員会が設立され、2 期 6 年にわたって研究および活動が続けてきた。2017 年には、その成果を「コンクリート舗装の設計・施工・維持管理の最前線－舗装工学ライブラリー16」にまとめるとともに、全国的な講習会を開催し、学生を含む多くの技術者にコンクリート舗装技術に関する啓蒙活動を行った。

これまでの活動によって、コンクリート舗装の曲げ疲労への破壊エネルギー理論の適用、舗装用コンクリートの性能設計および評価、パフォーマンスに基づいた合理的な維持管理法などに関するさらなる研究が課題として残された。またこれまでの活動の成果を舗装標準示方書の改定に反映させ、さらにコンクリート舗装の工学的な技術を深めていくことも必要である。

以上より第 3 期のコンクリート舗装小委員会の設立を提案する。

2. 活動内容

小委員会全体で活動テーマについて議論を行い、具体的に検討する課題を抽出・選定する。抽出された課題に対する検討は、小委員会内に設置した分科会で対応する。

☆ テーマ案

- (1) 曲げ疲労への破壊エネルギー理論の適用性の検討
- (2) コンクリート舗装の路盤・路床を含めた構造設計に関する検討
- (3) 舗装用コンクリートの革新的な材料設計や評価の手法の検討
- (4) テクスチャとすべり抵抗の関係や段差予測を含めた路面性状に関する検討
- (5) 100 年供用を実現するための設計・施工・維持管理の戦略
- (6) 舗装標準示方書改定作業

3. 活動予定期間

2018 年度下半期より活動開始。活動期間 3 年。

4. 期待される成果

- (1) コンクリート舗装の超長寿命化
- (2) 舗装標準示方書のコンクリート舗装に関する項目の改定

5. 委員構成

委員長候補：西澤 辰男（石川工業高等専門学校）

幹事長候補：種綿 順一（大成ロテック(株)）

委員候補：公募（舗装工学に関わる産官学で構成予定・第二期からの継続含む）

6. 応募方法

コンクリート舗装小委員会への参加をご希望の方は、以下の事項を記載の上 9 月 28 日(金)までに下記申込先まで“メール”にてお申込み下さい。

(1)記載事項

- ① 氏名，ふりがな
- ② 所属機関名，部署名，役職
- ③ 所属機関所在地
- ④ 電話番号
- ⑤ メールアドレス
- ⑥ 土木学会から委員就任委嘱状の要否

※委嘱状について

- ・委員本人宛に郵送されます。
- ・「本人宛の委嘱状」＋「所属長宛での委員派遣依頼状」とすることも可能です。
委嘱状に加えて、所属長宛の委員派遣依頼状が必要な方は、所属長の役職・氏名も併せてお知らせ下さい。（この場合も委員本人に郵送）
- ・委嘱状等が送付されるまでの流れとしては、「募集締切り→希望者のとりまとめ→作成（土木学会本部）→本人宛郵送」となります。
お手元に届くまでには時間を要しますので、ご容赦願います。

(2)申込先，問い合わせ先

大成ロテック(株)生産技術本部 技術部

種綿 順一（たねわた じゅんいち）

TEL：03-5925-9437

携帯：090-6188-0371

E-mail：tane@taiseirotec.co.jp